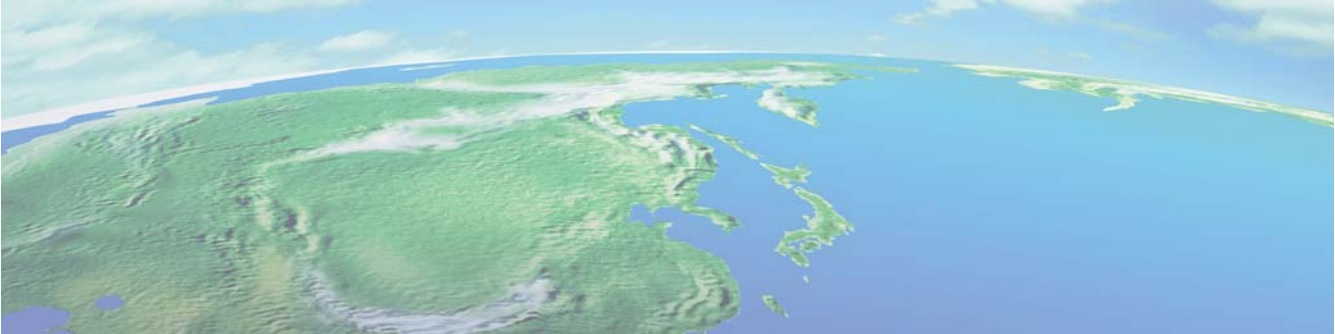


## 新たな時代へ向かって

信濃毎日新聞は、国内や世界各国の動きを最新の新聞制作システムでスピーディーに編集、長野と塩尻の両製作センターで同時印刷して読者に届けています。地域の話から世界の出来事まで、充実した紙面内容と速報性で読者から大きな信頼が寄せられている、長野県のリーディングメディアです。

2004年には、地上12階建ての長野本社新社屋が完成。最新の印刷技術を駆使した製作センターとともに新たな時代に向かっていく情報発信基地として、信頼される新聞づくりを続けています。



▲長野本社 新社屋

より読者に親しまれる新聞社を目指し、1階フロアを開放。展示スペース、デジタルライブラリー、コーヒールoungeなどを備え、ゆったりとした時間を提供している。

### ▶長野製作センター

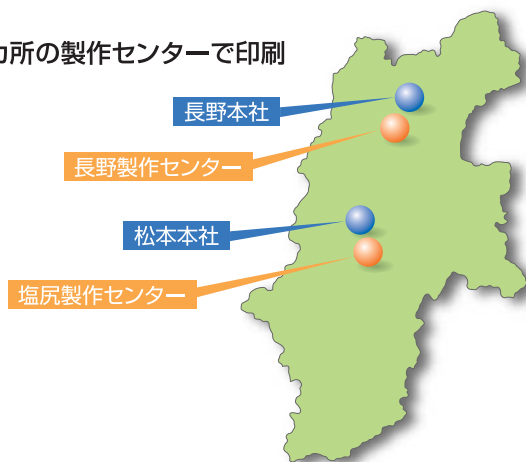
2001年完成。国内初の40ページフルカラー印刷を実現。新聞印刷の現場を身近に感じてもらえるよう、読者の見学にも積極的に対応している。



### ◀塩尻製作センター

中南信エリアの印刷拠点。2008年7月に40ページフルカラーの印刷体制が完成。全社40ページフルカラー印刷体制が整いました。

### ●2カ所の製作センターで印刷



# 圧倒的な媒体力

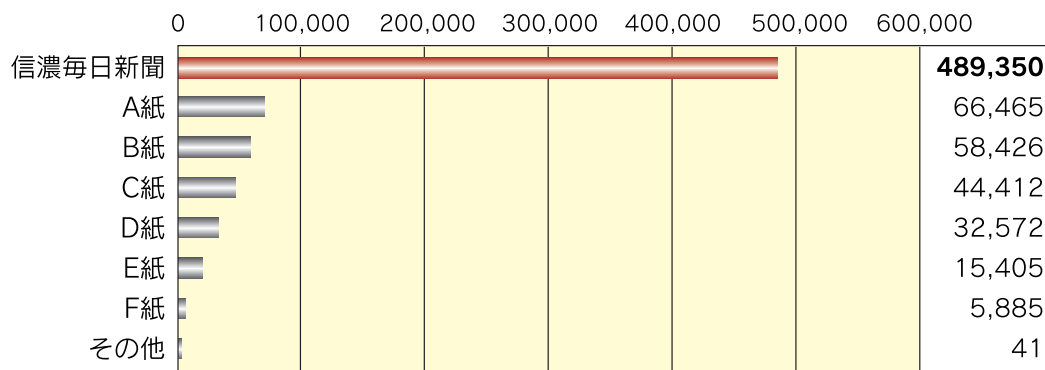
■長野県No.1の発行部数

**489,350部**

■長野県内世帯普及率

**59.7%**

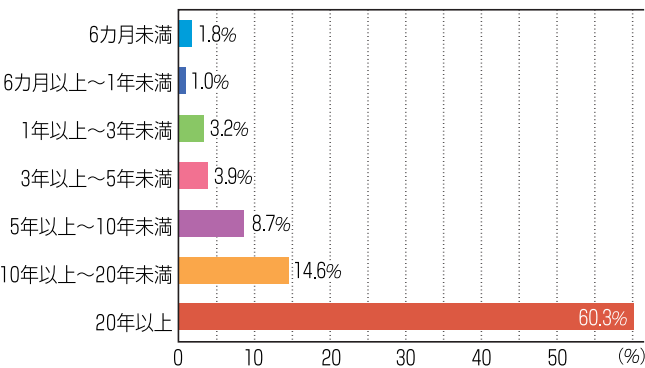
【長野県内の主要日刊紙部数の比較】



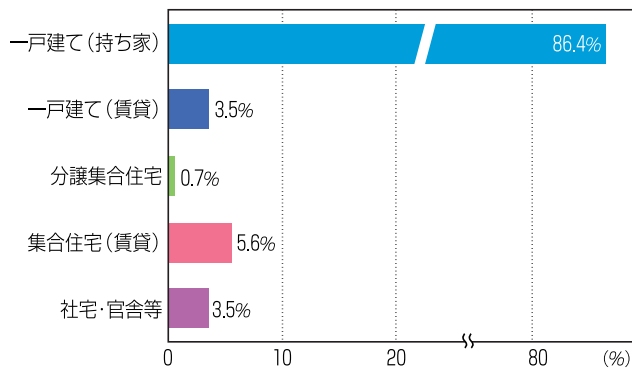
※部数はABC協会「市区郡別部数表(2011.10)」より普及率は2011.3.31住民基本台帳人口要覧の世帯数により算出

信濃毎日新聞は幅広い読者に支持されています。

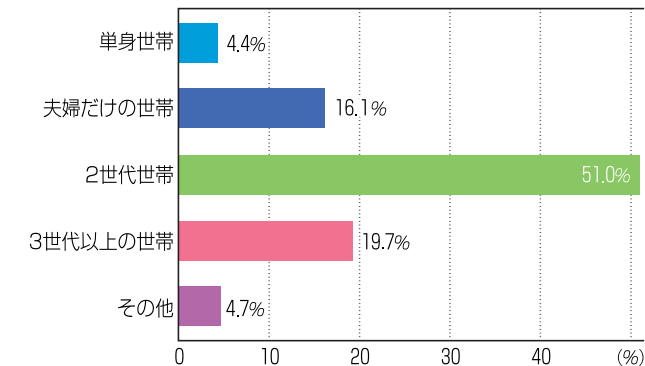
【購読期間】



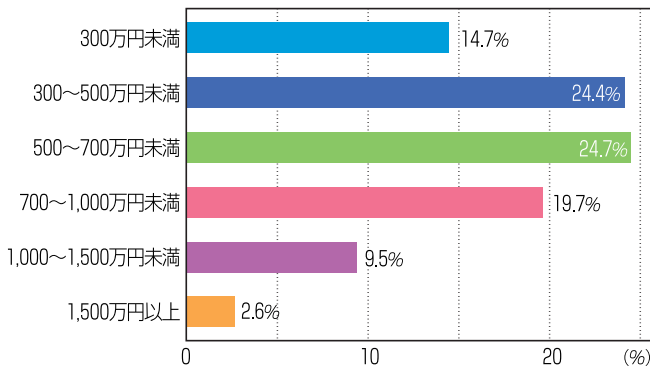
【住居形態】



【家族形態】



【世帯年収】



J-READデータ(2009年 長野県):ビデオリサーチ調べ  
※信濃毎日新聞(朝刊)読者ベースで集計・加工

## 広告局でさまざまな取り組みにチャレンジ

### ●日本新聞協会 新聞広告賞(新聞社企画部門)を多数受賞



2007年10月16日付



◀受賞紙面と賞状、トロフィー

信濃毎日新聞社は、全国の新聞に掲載された広告のなかから優れた作品を表彰する日本新聞協会の「新聞広告賞」を数多く受賞しています。2008年度受賞の「第60回新聞大会記念PR特集『日本の真ん中から ありがとう』」は、長野県と他の46都道府県との“縁”を地元色豊かに紹介することを通じて、長野県の魅力を掘り起こした大型企画。斬新なデザインと紙面構成で高く評価されました。

#### 〈近年の受賞歴〉

- 2001年度「子育て王国 信州」
- 2002年度「折り返しからが人生だ」
- 2003年度「善光寺御開帳にぎわいプロジェクト」
- 2004年度「奇祭『諏訪御柱祭』企画 1300年の伝統と21世紀デジタル広告とのフュージョン」
- 2005年度「ネオジェネ—時代を拓く若いカー」
- 2008年度「第60回新聞大会記念PR特集『日本の真ん中から ありがとう』」

### ●地域スポーツの支援に積極的に対応

長野県は今、地域スポーツチームの活躍に沸いています。県民球団として2006年に発足した「信濃グランセローズ」は、BCリーグ所属の他県チームと熱戦を展開。サッカーは2012年からJ2に昇格した「松本山雅FC」、その後を追うJFL「AC長野パルセイロ」が地域を盛り上げています。信濃毎日新聞は紙面による応援企画はもちろん試合運営も支援、チームやサポーターと一つになって地域スポーツの“元気”を応援しています。



2011年12月16日付



2011年12月27日付

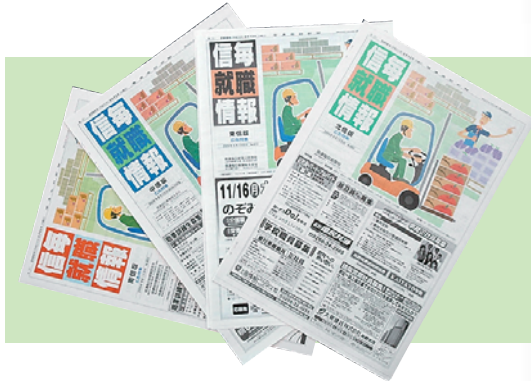


2011年9月1日付

# 地域密着の多彩なサブ媒体

## ●人材確保のNo.1メディア「信毎就職情報」

「信毎就職情報」は毎週日曜日に発行のタブロイド判求人広告専門媒体。広い長野県を北信、東信、中信、南信の4つのエリアに分け、地域のニーズに合わせて発行しています。その信頼性と広告効果は、広告主と読者から高く評価されています。



北信版	182,000部	中信版	120,500部
東信版	108,500部	南信版	85,000部

## ●地域ならではの話題満載 エリア別フリーペーパー

松本、諏訪、伊那、飯田、佐久の5つの地域で発行の週刊媒体。身近な話題から催しものまで、各地域のHOTな生活情報を満載し地域読者に親しまれている歴史あるフリーペーパーです。

さらに、F1層をターゲットとしたフリーペーパー「Do!sul」、団塊世代向けの「towaie」なども加え、多彩なサブ媒体を発行しています。



週刊まつもと…	(金曜日発行)	120,500部
週刊すわ…	(金曜日発行)	48,000部
週刊いな…	(木曜日発行)	48,600部
週刊いいだ…	(木曜日発行)	48,000部
週刊さくだいら	(木曜日発行)	55,000部
Do!sul…	(第3木曜日発行)	166,000部
towaie…	(最終金曜日発行)	102,000部

## カラー高精細高品質を実現

### ●新AMスクリーン新聞協会賞受賞

「新AMスクリーン」は信濃毎日新聞社がメーカーと共同開発した網点印刷技術で、新聞では不可能とされていた高線数(200線)を実現しました。細部の再現性、カラー品質を格段に向上させることに成功し、2009年度新聞協会賞(技術部門)を受賞しました。

新聞界トップレベルのカラー品質を実現し広告主にも高い評価を得ています。



AM120線の網点



新AM200線の網点



〈AM120線〉



〈新AM200線〉

細かな網点を使用すると、白ヌキ文字や網文字がきれいに再現されます。画像の細部の再現に優れ、階調表現がなめらかになります。

◀印刷物の顕微鏡拡大図



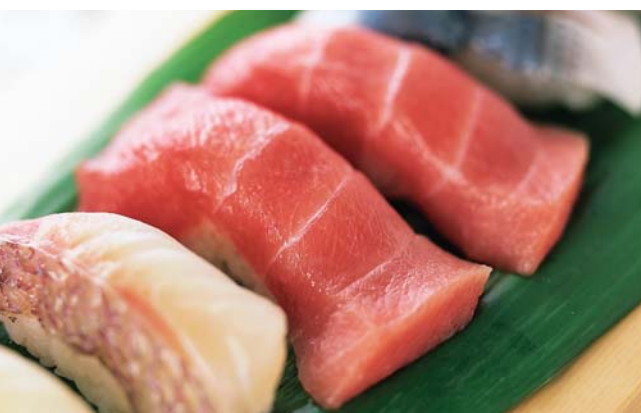
### 細かな部分の表現力がアップ

住宅の外壁、時計の文字盤、ビールの泡など細かな表現に優れています。



### グラデーションの階調がなめらかに

女性の肌や車のボディなどなめらかなグラデーションが欠かせない広告に最適です。



### 表現できる色の範囲が広がりました

食品や風景などの写真を鮮やかに再現します。



### 金属の質感を表現することに成功

白色度の高い紙を使用することにより、金属の質感、光沢感を表現することができるようになりました。

信毎広告局HP MEDIA GUIDE <https://ad.shinmai.co.jp/>  
メール [koukoku@shinmai.co.jp](mailto:koukoku@shinmai.co.jp)

- 長野本社／長野市南県町657 〒380-8546  
広告部 ☎(026) 236-3333 FAX(026) 238-0007
- 松本本社／松本市宮田2番10号 〒399-8711  
広告部 ☎(0263) 25-2153 FAX(0263) 26-8730
- 東京支社／東京都千代田区内幸町2-2-1日本プレスセンタービル3F 〒100-0011  
営業部 ☎(03) 5521-3100 FAX(03) 5521-3300
- 上田支社／上田市常磐城5-3-28 〒386-0027  
☎(0268) 23-1203 FAX(0268) 23-1202
- 佐久支社／佐久市大字瀬戸1203-1 〒385-0035  
☎(0267) 64-8350 FAX(0267) 62-2533
- 諏訪支社／諏訪市小和田南13-6 〒392-8520  
☎(0266) 52-0965 FAX(0266) 58-8101
- 伊那支社／伊那市中央4628-3 〒396-0015  
☎(0265) 72-2102 FAX(0265) 73-7911
- 飯田支社／飯田市本町3-26 〒395-8510  
☎(0265) 23-8622 FAX(0265) 23-5214
- 大阪支社／大阪市北区曽根崎新地1-3-16 京富ビル9階 〒530-0002  
☎(06) 6345-2301 FAX(06) 6345-2303
- 名古屋支社／名古屋市中区栄4-16-8 栄メンバーズオフィスビル6階 〒460-0008  
☎(052) 262-2522 FAX(052) 264-9281